

こさい議会だより

# ぎかいのひろば

No. 205 6月定例会

令和5年7月31日発行

- 2 6月定例会ではこんなことが決まりました
- 4 そこが聞きたい!!一般質問
- 9 市内現地視察を行いました
- 10 あの質問、どうなったの?



# 6月定例会ではこんなことが決まりました

<b>6月 定例会</b> 会期 6月5日～6月21日	<input checked="" type="checkbox"/> 条例の一部改正 …………… 9件
	<input checked="" type="checkbox"/> 条例廃止 …………… 2件
	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算 …………… 4件
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 …………… 5件
	合計 20件

この中から3つの質問を紹介します!!

## 議案第55号

### 森林環境税が令和6年度から課税開始（1人年額1,000円）

森林環境税を個人市民税の均等割と併せて賦課徴収することなどを規定する湖西市税条例の改正で、全員賛成により可決した。

**問** 2019年3月に成立し令和6年度から徴収開始となる森林環境税について、市民にどのように周知しているか。

**答** 国税である森林環境税は、現在、総務省と林野庁がそれぞれのウェブサイト等で周知をしている。本市においては、条例の改正後、速やかに市ウェブサイトにて周知をしていく。



▲湖西市のウェブサイト（森林環境税について）

## 議案第58号

### 第2子の保育料無償化へ※（令和5年9月以後の保育料から適用）

保育所、幼保連携型認定こども園及び小規模保育事業所に在籍する0歳児から2歳児までにかかる保育料について、多子世帯のさらなる負担軽減を図り、職住近接の推進に繋げるため、第2子の保育料を、現行の半額から無料とするための条例改正で、全員賛成により可決した。

※18歳になる年度末までの者のうち2人目以降の児童が対象  
※一時預かり事業などは対象外

**問** 対象となる園児の数、想定される効果は。

**答** 令和4年度実績から、新たに保育料無償化の対象となる児童は181人と見込んだ。物価高騰下における多子世帯の更なる経済的負担の軽減を図るとともに、職住近接の推進に寄与するものと考えている。

## 新居弁天今切体験の里の活性化に向け、使用料、開業時間等を見直し

新居弁天今切体験の里条例の改正で、全員賛成により可決した。主な改正内容は次のとおり。

- ①キッチンカーの出店やイベントを実施できるよう新たに屋外区画を追加
- ②新居弁天利活用事業や舟運事業などを見据えて新たに棧橋の使用料を設定
- ③現行の施設使用料について、実情に合わせて改訂
- ④7月及び8月の営業時間を18時までと定めていたものを、学校の長期休暇など必要に応じて、柔軟に変更できるよう改訂



◀円形広場

**問** 条例改正による使用料の増額及び利用者数の増加をどの程度見込んでいるか。

**答** 屋外区画については、飲食する場所が少なく、利用者が不便を感じていた海湖館周辺において、キッチンカーなどの出店により、新たな集客が見込めると考えている。棧橋については、今までは実証実験や防災関係事業など用途が限られていたが、棧橋の営利利用を可能にすることで、舟運事業の活性化による新居弁天地域の新たな魅力発見、賑わいの創出に繋がることを期待している。



◀屋外区画

## 3つの特別委員会を新設

次の3つの特別委員会を新たに設置しました。設置期間はいずれも令和5年6月21日から調査終了までとなります。

### 広報特別委員会

#### 目的

議会だよりの編集及び議会活動全般にわたる広報のあり方について調査研究をする。

#### 委員

委員長 加藤 治司  
副委員長 相曾 桃子  
委員 山本 晃子  
寺田 悟  
山口 裕教  
滝本 幸夫

### 広聴特別委員会

#### 目的

議会報告会等の開催及び議会活動全般にわたる広聴のあり方について調査研究をする。

#### 委員

委員長 柴田 一雄  
副委員長 荻野 利明  
委員 土屋 和幸  
楠 浩幸  
佐原 佳美  
二橋 益良

### 議会活動推進特別委員会

#### 目的

湖西市議会基本条例の推進とこれからの本市議会のあり方等について調査研究をする。

#### 委員

委員長 竹内 祐子  
副委員長 神谷 里枝  
委員 三上 元  
福永 桂子  
菅沼 淳  
馬場 衛

# そこが聞きたい!!

## 一般質問

一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。今回の定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。

湖西市議会 再生リスト  
令和5年6月定例会

湖西市議会公式サイト ウェブサイトで本会議・議員ごとの映像を見ることができます。

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>

湖西市議会

本会議インターネット放送

本会議の放送はこちらから (YouTubeへ)



# 01

### 総合防災訓練(9月3日)について



二橋 益良 議員

**問** 指定避難所単位で、各自主防災会の合同協議が必要と考えるが、市の考えは。

**答** 関係する自主防災会が一堂に会して合同協議が行える場として、避難所運営連絡会を避難所ごとに設置し、地域や避難された方が避難所を自主運営できるよう、避難所運営マニュアルの作成にご協力いただいている。連絡会には、避難対象となる自治会や自主防災会の役員を中心に民生委員や保健推進委員、婦人会などの方々や、アドバイザーとして地域防災指導員にも参加していただいている。

**問** 市職員OBを防災協力者として登録する制度を設けてはどうか。

**答** 避難所は、地域住民が立ち上げ、運営を行うので、市や地域の実情を把握している職員OBがこれまで職員として培った知識や経験を災害時に活かし、避難所運営に協力していただければ、災害時における現場の混乱を減らすことができる。一方で居住地や経験の違いもあることから、登録制度と運用についてどのように構築できるか今後研究していきたいと考えている。

### 保育の拡充について

**問** 幼稚園・保育園・認定こども園それぞれの定員に対しての在園児とその状況に対する市の考えは。

**答** 入園率は、公立幼稚園とこども園の幼稚園部で約40%、公立・民間のこども園の保育部と民間保育園などで約90%である。この5年間で幼稚園の入園児数は半減したが、保育園の申込者数は増加し、高止まりしている。コロナ禍による出生数の減少など、社会情勢の変化から保育需要を的確に捉えることは大変難しいが、緊急一時預かり事業の実施・拡充や、保育士等の確保などに努め、今後も対応していきたい。

**問** 今後の民営化や既存の園の閉園・認定こども園化や保育所施設の開園の見通しは。

**答** なぎさ保育園は、園からの申出により令和6年度末までに閉園予定である。令和6年4月1日に真愛保育園に幼稚園部が創設される予定のため、同じ白須賀地区に設置している白須賀幼稚園については、本年度末に閉園する方向で関係機関と調整をしている。公立と民間を含めて、今のところ新規に保育施設を設置・開園する予定はないが、入所待ち児童の解消のため、引き続き、検討はしていきたい。

# 02



相曾 桃子 議員

その他の質問 保育の質について

## 食育の推進について

# 03

**問** 食育推進計画の進捗状況と課題は。

**答** 令和3年度と4年度は、コロナの影響により事業の中止や縮小などがあり、令和4年度末の取組への評価は、評価指標24項目中、「目標達成」が5項目、「目標は達成しないまでも改善」が2項目、「目標を達成していない」が17項目という結果である。「食育に関心のある人の割合」が計画策定時の実績値60.5%よりも、令和4年度末時点が58.7%と1.8ポイント下がっていることが課題である。

**問** 行政が、食育を市民活動として推進するための方策は。

**答** 関係機関による食育推進連絡会を年2回開催し、食育に関する湖西市の課題を共有するなど、課題の改善に向けた取組についてグループワークを実施することで、自身が所属する団体や組織で、どのような取組ができるかを検討していただいている。食育の推進は、行政だけではできないので、今後も、関係機関や関係団体、地域の皆様の協力を得ながら、食育推進の方向性を共有し、普及に向けて取り組んでいく。



竹内 祐子 議員

# 04

## 湖西市総合計画(職住近接)の進捗について

**問** 新築住宅着工件数における持家、貸家の推移を踏まえ、転入転出者の状況に対する市の考えは。

**答** 令和4年度の新設住宅着工戸数は、持家137戸、貸家53戸で、ともに減少傾向にある。令和元年度からの『住もっか「こさい」定住促進奨励金』制度を活用した累計転入数は、60世帯、183人で、総合計画で目標としている178人を達成している。令和4年度は41名の転入超過で、主な要因は、外国人住民の転入者が増加したことと考えている。今後も、湖西市の暮らしに関するニーズを把握し、根拠に基づいた施策・情報発信を心掛けていく。

**問** カーボンニュートラルの実現に向け、住宅エコリフォーム事業を活用した湖西市独自の断熱リフォーム支援制度を構築してはどうか。

**答** ご提案いただいた支援制度に関しては、国土交通省、経済産業省、環境省など、各種補助制度が多くある。どの補助制度であっても目的は「省エネ・耐震」というところであるが、所管する省庁が違うために非常に分かりにくいと感じている。まずは、今後、これらの制度の特徴を分かりやすく整理し、市民の皆様に活用していただけるよう広報を行ってきたい。



楠 浩幸 議員

## 湖西連峰ハイキングコースの現状と課題について

**問** ハイキングコースの維持管理計画において、立ち枯れした木の切除計画はどのようになっているか。

**答** 具体的な樹木の伐採計画はないが、危険樹木などは、湖西連峰ハイキングコース開発委員会などのご意見を聞きながら伐採を進めている。ハイキングコースの土地は、市有地、国有地、個人所有地が入り混じり、各土地所有者に了解を得る必要がある。また、大きな樹木の場合、人力での伐採が難しい上、重機の搬入が困難な場所も多いため、容易に伐採することができない箇所も多くある。利用者が安全・安心に楽しめるよう、まずはハイキングコース上の倒木の処理やこども園の園

児達を通る登山道の伐採を優先して行っており、コースから外れた樹木などについては、緊急性・必要性などを考慮し優先度が高い箇所から順次伐採をしている。

## 木造住宅耐震化の促進について

**問** 耐震補強に対する湖西市の補助制度の活用状況は。

**答** 平成13年度から令和4年度にかけて耐震診断を実施した件数は1,635件である。直近3年では、令和2年度が4件、令和3年度が12件、令和4年度が10件となっている。



山口 裕教 議員

# 05

## 湖西市議会議員選挙における投票率向上と執行管理について

06

**問** 湖西市議会議員選挙の投票率をどのように受け止めているのか。

**答** 本年4月23日に執行された湖西市議会議員選挙の投票率は53.16%で、前回の平成31年度の投票率59.70%と比べて6.54ポイントの低下となった。全国的に投票率の低下が話題となっているが、本市においても選挙への関心が低かったのではないかと受け止めている。

**問** 投票所の設置数や各投票所の場所は対象となる有権者数に対して適切であるか。

**答** 本市では選挙当日は29の投票所を設置している。県内他市と比較しても、有権者数に対して適切な設置をしていると考える。



柴田 一雄 議員

07

## 交通弱者対策の促進について

**問** コーちゃんバスおよびデマンド型乗合タクシーにおける市民ニーズの現状と課題、今後の方針は。

**答** コーちゃんバスでは市内をくまなくカバーするには限界があり、運行経路が長く目的地まで長時間を要したり、交通空白時間が生じるなどの課題がある。今後、分かりやすい路線や複雑化したダイヤの改善などに取り組んでいく。利用対象区域となっていないJR駅周辺の、特に運転免許を返納した高齢の方などから、コーちゃんタクシーを利用したい旨の要望が多く聞かれている。今後、運行エリア拡大などに取り組んでいく。

**問** 重度心身障害者タクシー料金助成制度について、家族の負担軽減、社会参加推進のため、対象者見直し等の緩和について伺う。

**答** 障害をお持ちの方はご家族の支援により社会参加ができている現状があり、支援されている親御さんの高齢化は喫緊の課題であるため、重度心身障害者タクシー料金助成制度の助成対象者の拡充は、必要だと考える。助成制度が本当に支援を必要な方を支えられるものとなるよう、障害を持たれる方に対するすべての制度を精査し、見直しも同時に進めていきたい。



神谷 里枝 議員

## ごみ焼却施設再稼働に伴うごみ出しルール変更について

08

**問** プラマーク品、剪定枝等の可燃ごみ化に伴いごみ容量が増加するが、狭いごみステーションでの容量不足の検証は実施したか。

**答** 令和3年度に、市内3地区において1カ月間、新ごみ出しルールについて検証を行った。この検証では、アンケートやごみステーションの状況観察により、容量に問題ない結果となった。収集業者からの聴き取りや現場確認から、現段階でごみステーションの容量が不足している箇所について把握しており、地元自治会と増設などの協議を進めているところである。

**問** 今後、市民への周知や協力依頼を実施すると思うが、市民に分かり易く啓発が進むような方法を検討しているか伺う。

**答** ごみステーションに新ルール説明板の設置には、ごみを出す市民に直接伝えることができるため、積極的に実施していきたいと考える。また、議員のご提案を踏まえ各世帯に配布する「ごみカレンダー」や「ごみガイドブック」を更新する中で、分かりやすく伝えるよう検討していきたい。



加藤 治司 議員

## 一人暮らしの高齢者を支えるために

**問** 行政のデジタル化が進むと高齢者にとって何が何だかわからない。こうした高齢者にどう対応していくのか。

**答** デジタルの取り扱いを苦手とする高齢者の皆様にも、デジタルサービスを利用していただけるよう、引き続き配慮する。サポート面では、令和3年度から開催しているスマホ教室に加え、7月からお住まいの近くの郵便局窓口スペースを活用し、個別にスマホ操作の支援を行う取組を開始する。一方で、どうしてもデジタルの利用が困難な方には、これまでどおり窓口でも申請ができるよう配慮す

る。併せて、窓口での負担を減らすため、「書かない市役所」のような、行政からお客様に寄り添える新たなデジタルの使い方にも取り組んでいく。

## 国保税の均等割額について

**問** 子育て支援の観点から見た国保税の均等割保険税に対する認識は。

**答** 子育て支援の経済的負担を軽減するため、令和4年4月から未就学児の均等割保険税を6歳に達する日以降の3月31日まで5割分を軽減させる制度を施行しており、国や県の指針に沿って適切に行っていると認識している。

09



荻野 利明 議員

10



寺田 悟 議員

## 中学校部活動の地域移行化について

**問** 協議会の設置時期、構成、協議スケジュールは。

**答** 今年の秋頃までに協議会を設置し、委員には、学校関係者、保護者、スポーツ協会、スポーツ推進委員、文化協会、関係課職員などをお願いしたいと考えている。協議会は、移行期間の令和7年度末まで3カ月に1回程度のスケジュールで実施していく予定である。

## 減災、犯罪抑止に向けた防犯カメラの活用などについて

**問** 「家庭用セキュリティシステム設置補助金制度」の早期導入が必要と考えるがいかがか。

**答** 家庭用防犯カメラの設置、窓の強化ガラス化、センサーライトの設置などの支援について、防犯対策として大変有効であると認識しており、国や県、他市町の動向を伺いつつ、情報収集に努め、今後研究していきたいと考えている。

## 地方創生臨時交付金の追加・増額された「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」の活用について

**問** 障がい児者の生活介護や療育訓練に市外に家族送迎する車両への燃料費支援の考えは。

**答** 障害を持たれる方、それぞれの症状に見合った障害福祉施設の利用状況を考えた場合、市内の施設だけでは十分ではなく、遠方の施設に、ご家族の送迎により利用されている方もいる。燃料費の価格高騰によるご家庭の負担軽減を図り、安定的かつ継続的な施設利用ができるような支援を検討していきたいと考えている。

**問** 物価高騰対策とした地方創生臨時交付金追加分で予定している事業は。

**答** 給食費の支援策や在宅医療を受けている方への助成、高圧電力を利用している中小企業者への支援、コーちゃんペイなどを予定している。今回の臨時交付金で緊急的にやるものと、継続してやるものを分けて考えていく。緊急でやることに関しては6月定例会で予算を補正する。

11



佐原 佳美 議員

## 高齢者世帯の生きがい対策・見守りについて

**問** 「孤独死」を防ぐための施策について市の考えは。

**答** 地域包括支援センターの職員や民生委員の皆様による一人暮らし高齢者の訪問活動や、ひとり暮らし高齢者緊急通報装置設置事業、配達時の安否確認を兼ねた高齢者配食サービスを行っている。また、市との協定に基づき、地域の新聞店や郵便局などのご協力を得て、気になる高齢者の情報を市へお知らせしていただく高齢者安心サポート事業も展開している。

## 子育て支援センターの利用者と議員との面談についての質問について

**問** 駐車場があり、年齢に応じた知育遊具があり、外遊びが楽しくなるような公園が欲しいとの声に対する市の考えは。

**答** 市内にある134カ所の公園のうち83公園に247基の遊具が設置されている。234基の遊具が概ね3～12歳の、幼児や児童の利用を想定しており、6公園には複合遊具が設置されている。駐車場は、市内10公園に設置されており、表鷲津湖岸3号公園にも整備を計画している。市内は面積が小さい公園が多く、大きな遊具を設けることは安全対策上難しいが、新たに遊具を設置する場合は、利用者の多様なニーズに応えられるよう検討していきたい。



土屋 和幸 議員

12

13

## 新型コロナワクチン及び市職員のマスク着用について

**問** 湖西市における新型コロナワクチンによる死亡者、重篤者、副反応疑いの人数は。

**答** 医療機関から厚生労働省に提出された副反応疑いは、厚生労働省から地方自治体へ情報提供される。令和5年6月19日現在、国から湖西市への情報提供は7例あり、症状の程度が「重い」が4例、「重くない」が3例で、いずれもワクチン接種との因果関係は明らかになっていない。また、接種部位の痛みや発熱などの副反応については、湖西市独自の調査は行っていないため、人数は把握していない。

**問** 新型コロナワクチン副反応疑い報告数、死亡者数、重篤報告数などのデータをホームページや接種券送付時に記載する予定はあるか。

**答** 接種券の送付時に、副反応の項目や主な症状などが記載されている「新型コロナワクチン予防接種についての説明書」を同封している。市ウェブサイトには、県が設置している「静岡県新型コロナワクチン接種副反応相談窓口」の案内や、「よくある相談と回答」を掲載している。ポジティブな情報もネガティブな情報も市民の皆様にご覧いただき、ワクチンの接種をご本人の判断で決めていただくことが、行政として最も大切だと考える。



山本 晃子 議員

## 市長の原発に関する考え方を問う

**問** 原発の今回の法改正によるさらなる稼働年数の延長は危険とは思わないのか。

**答** 延長したという事実関係は承知しているが、それに関して判断はできない。原発の稼働に関しては、安全確保が第一である。他方で、安定した市民生活、持続可能な産業・経済のためにも、国策として、電力・エネルギーの安定供給、価格高騰の抑制は必要であると考えている。

**問** 再稼働賛成の条件であると市長が考える浜岡原子力発電所の安全性が認められる時とは、どんな時を示すのか。

**答** 安全性の確保は、原子力規制委員会にいる、専門家の知見から判断を突き合わせてされるものと承知している。



三上 元 議員

14

**問** 人口が分散している状況で、湖西市のまちづくりの基本的な考えがどこにあるのか、また将来展望についての見解は。

**答** 本市のまちづくりの基本的な考え方として、立地適正化計画では、鷺津市街地を都市拠点に、新居市街地及び新所原市街地を地域拠点に位置付け、居住や都市機能の誘導を図るとともに、都市拠点や地域拠点と郊外の地区拠点の間を、地域公共交通で結びつける、集約連携型のまちづくりを進めることとしている。こうしたまちづくりにより、人口減少下であっても、生活サービスやコミュニティが確保され、各種サービスが持続的に提供されると考えている。

**問** 市民のための芸術文化の創造拠点となる、魅力あるまちづくりへの投資となるべき新たな市民会館の整備についてどのようにお考えか。

**答** 市民交流複合施設関係団体等意見交換会の結果報告を受け、ロードマップの見直しを行っており、新居地域センター改修などを優先させることとした。市民ホール機能を持つ新居地域センターは、利用団体などとの意見交換を重ね、ホールの階段や空調、トイレの改修、バリアフリー化などを行い、利用者にとって使いやすい施設となる。改修後は、多くの団体や市民の皆様積極的に活用いただくことを期待している。



福永 桂子 議員

## 市内現地視察を行いました

### ● 建設環境委員会

とき：令和5年6月1日(木)

場所：湖西市環境センター

内容：5月8日に発生した火災の現場と不燃ごみの仮保管場所の確認

火災発生現場を施設内から確認し、職員から説明を受けた。出火原因は、不燃ごみに混入した充電式リチウムイオン電池と考えられるとのことであった。設備と施設の焼損により、当分の間、不燃ごみの処理ができなため、浜松市平和破碎処理センターに処理の委託をしている状況である。

収集車やごみ処理施設への被害だけではなく、周辺にお住まいの方に多大なご迷惑をお掛けすることになることから、市民の皆様への注意喚起を含めた再発防止対策が急務であると感じた。

消火設備の更新など、今後の再発防止対策について、建設環境委員会として引き続き注視していく。



▲施設内から火災発生現場を確認



▲処理できない不燃ごみの仮置場

### ■ 市議会からのお願い

市のウェブサイトや広報こさい(6月15日号)にて、リチウムイオン電池の捨て方に関する注意喚起を行っていますので、市民の皆様にはぜひご覧いただき、分別の徹底にご理解ご協力をお願いします。

ウェブサイト



広報こさい



# あの質問、 どうなったの？

過去の定例会で行われた一般質問が、その後  
どう取り組まれたのかを追跡します。

議会だより No.201 掲載 (令和4年10月31日付発行)

## ● 精神障害者通院等交通費助成等について



精神障害者にも、重度心身障害者タクシー料  
金助成制度を適用できないか。



身体、知的、精神の3障害それぞれの障害特性に  
対応した支援が必要である。特に、移動手段の確保  
は重要である。精神障害者の方に重度心身障害者  
タクシー料金助成制度を適用した場合、自動車税減  
免を受けている方は助成対象外となるなどデメリッ  
トもある。どのような支援制度がよいか近隣市町の  
取組状況を参考に前向きに研究していく。

## 追跡してみると…

令和4年12月9日に重度心身障害者タ  
クシー料金助成要綱が改正され、令和5年  
度から精神障害者(障害等級1級)の方も  
タクシー料金の助成が受けられるようにな  
りました。



詳しくはこちらから

## 市議会からのお知らせ

### 「ぎかいのひろば」を スマホでも!



マチイロ を使えば、「ぎかいのひろば」を  
スマートフォンで読むことができます。  
(※別途通信料が掛かります。)

#### 利用方法

- ① 右のコードからアクセス
- ② 「マチイロ」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住まいの地域を「湖西市」に設定



編集:広報特別委員会 (◎は委員長、○は副委員長)

- ◎加藤 治司      ○相曾 桃子      山本 晃子  
寺田 悟          山口 裕教          滝本 幸夫

## 9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	9/1	2
3	4 10:00~ 本会議第1日	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14 10:00~ 本会議第2日 (一般質問)	15 10:00~ 本会議第3日 (一般質問)	16
17	18	19 10:00~ 本会議第4日 (一般質問)	20 10:00~ 本会議第5日	21 9:30~ 決算特別 委員会	22 9:30~ 決算特別 委員会	23
24	25 9:30~ 決算特別 委員会	26 10:00~ 総務経済 委員会	27 10:00~ 福祉教育 委員会	28 10:00~ 建設環境 委員会	29	30
10/1	2	3	4 10:00~ 本会議第6日	5	6	7

予定が変わることもありますので、最新の情報はウェブサイトでご確認ください。

次回は  
令和5年10月31日 発行予定です

発行/湖西市議会  
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地  
TEL.053-576-4791/FAX.053-576-0331  
<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>

湖西市議会  
公式サイトも  
ご覧ください

